

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1022), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for feedback.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1023), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the effectiveness of temporary staff and future improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1024), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for final assessment and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1026), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1027), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status legend.

Final evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1028), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a comment box for future actions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1030), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment: '本事業は、学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。'

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1031), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the effectiveness of the school lunch program and future directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1033	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 学校給食の運営 個別事業 我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課							
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成17年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.25人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	9,393千円 (うち人件費 2,200千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 子ども総合計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。					事業目的	地元で生産される米・野菜を学校給食に導入することにより、食に関する教育の充実、地産地消を図り、児童生徒の地域に根ざした食に対する理解を深め「食育」を推進する。						
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・我孫子産米「コシヒカリ」を市内小中学校の学校給食に全量使用し、使用回数は週3.9回を維持する。 ・我孫子産野菜を市内小中学校の学校給食に月1~4回使用する。 ・地元産農産物を取り入れた学校給食を通じて、我孫子市の農業への興味・関心を高め、郷土愛を育む。 					当該年度執行計画	6月：食に関する実態調査の実施。 9月：「学校給食用我孫子産米調達業務委託」債務負担行為設定。(期間2020年度~2020年度)						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	米飯給食の実施することにより我孫子産米・野菜の周知度を高める。					直接	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童生徒の割合。		%	87	90			
令和2年度	米飯給食の実施することにより我孫子産米・野菜の周知度を高める。					直接	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童生徒の割合。		%		90			
令和3年度	米飯給食の実施することにより我孫子産米・野菜の周知度を高める。					直接	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童生徒の割合。		%		90			
(7) 事業実施上の課題と対応						代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			我孫子産米調達業務委託料 債務負担行為設定(平成31年度~平成31年度)	7,140		我孫子産米調達業務委託料 債務負担行為設定(2020年度~2020年度)	7,193	6,459		我孫子産米調達業務委託料 債務負担行為設定(2021年度~2021年度)	7,193		我孫子産米調達業務委託料 債務負担行為設定(2022年度~2022年度)	7,193
		予算(決算)額	合計	7,140	合計	7,193	6,459	合計	7,193	合計	7,193			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
一般財源		7,140		7,193	6,459		7,193		7,193					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0					
換算人数(人)		0.25		0.25	0.25		0.25		0.25					
正職員人件費		2,200		2,200	2,200		2,200		2,200					
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		9,340		9,393	8,659		9,393		9,393					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.54千円/人		0.52千円/人	0.55									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	・飽食の時代と言われ食べ物があふれる現代、その一方で偏った食事、栄養バランスの崩れにより生活習慣病の予防が大きな課題となっています。子どものころから食の大切さや正しい知識を学んで、豊かな食生活を送れるようにするための「食育」の重要性が増大しています。 ・こうした食に関する関心の高まりはあるが、知識、機会不足しているのが現状であり、子どもの頃から、食卓にのぼるまでの過程の理解や食品の選択の機会、生産者と消費者の間の顔の見える関係づくりが必要となっています。 ・地元産米を学校給食で使用することにより、地域に根ざした食の理解、関心を高める機会を提供することに繋がります。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ■⑤サービス水準が確保された ■⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				工夫の具体的な内容				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				環境への配慮				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	87	90	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(g)(f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 栄養士による食育や情報発信により食への関心が深められた		
					87.8	97.56			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(h)(g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ●②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因> 令和2年10月から消費税が増税となったため		
	9,393	△53	<削減の内容>		8,659	92.19	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		△0.57							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.96	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(i)(h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 栄養士による食育や情報発信により食への関心が深められた		
		%	10万円		1.01	105.21			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				
	本事業は学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1034), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1035), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial table for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including a status check and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1036), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1037), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1039), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with status indicators and comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1040), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1043	課コード	1502	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	学級編制及び学籍管理 (法令に基づく適切な事務) 事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.7人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	6,230千円 (うち人件費 6,160千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52104	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。			事業目的	法令に基づき事務を遂行し、適切に児童生徒の学籍管理を行う。						
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級編制事務 ・学籍簿作成管理 ・入学、退学、転学の手続き ・学区外就学、区域外就学の手続き ・我孫子市通学区審議会 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児童生徒の保護者に対し、入学通知書を発送。 ・学区外、区域外就学の手続き。 ・入学、退学、転学の手続き。 ・学籍簿の管理。 ・学級編制協議 (各小中学校・教育事務所) ・我孫子市通学区審議会 						
		当該年度活動結果指標	適切な事務を遂行し、学籍簿を適正に管理する件数。		単位	件数	想定値	9,989		実績値	9,367	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%	100	100		
令和2年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%		100		
令和3年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	地域により各小中学校の児童生徒数に偏りがある。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 	0
		0	0	70	0	0	35	0	0	35		
		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
予算(決算)額	合計		0	合計		70	合計		35	合計	35	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			0			70			35		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.7		0.7		0.7		0.7				
	正職員人件費	6,160		6,160		6,160		6,160				
	嘱託職員報酬額	6,883		7,092		7,092		6,883				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,160		6,230		6,160		6,195				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.62千円/件数		0.62千円/件数		0.66							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	小中学校の学籍簿作成や入学、退学、転学等の取り扱いは、すべて法令により規定されていることから、法令に基づく事務を遂行する必要がある。				<ul style="list-style-type: none"> ●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法令に従い適正な事務処理をした				<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法令に従い適正な事務処理をした				
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 				<ul style="list-style-type: none"> ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 				○要 ●不要
	<その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 公立学校であることから、行政機関の運営となる				
参加・協働の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 				<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 				○要 ●不要
	実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 				<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 				○要 ●不要
	環境に配慮して事業を進めているか？				環境に配慮して事業を進めているか？				
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ●①目標値達成 ○②目標値未達成 		
	100	100	<ul style="list-style-type: none"> □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である 		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 法令に従い訂正な事務処理をした		
					100	100			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他 		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>		
6,230	△70	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他 		6,160	98.88	<想定どおり削減できなかった原因>			
事業費削減率 (%)		<削減の内容> 不定期に開催する審議会を予定しているため、増額となった		<超過理由等>					
△1.14									
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	1.61	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	○①目標値以上		
		%	10万円	○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	1.62	100.62	●②目標値と同程度		
						○③目標値以下			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	法令に従い、今後も市において業務を推進する									

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1819	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	学校給食施設整備事業		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	教育総務部・学校教育課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	3,230千円		当該(開始)年度	(当初)	2,200千円 (うち人件費 2,200千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。			事業目的	学校給食の円滑な実施を図るため給食施設設備の維持管理を行なう。				
(3) 事業内容	内容	給食施設設備の整備及び維持管理を行なう。学校給食施設設備は、全体的に老朽化が進んでいるため、必要性の高いところから計画的に修繕し、衛生状態の向上を目指している。			当該年度執行計画	なし。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る			指標種類	指標	単位	%	想定値	100
当該年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%	100	実績値	0	(5) 現況値	(6) 目標値	100
令和2年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%	100					100
令和3年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%	100					100
(7) 事業実施上の課題と対応	老朽化に伴う故障	代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		* 施設修繕料	1,296	なし。	* 施設修繕料	1,080	* 施設修繕料	3,493		
		グレーチング修繕(我四小)			グレーチング修繕(並木小)		グレーチング修繕(我二小、湖北小、湖北台東小)			
予算(決算)額		合計	1,296	合計	0	合計	1,080	合計	3,493	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		1,296		0		1,080		3,493	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.25		0.25		0.25		0.25		
	正職員人件費	2,200		2,200		2,200		2,200		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,496		2,200		2,200		3,280		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3,496千円/件		22千円/%		0					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	学校給食の安全性の確保と質の向上のため必要。法制度に対応するため必要。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 当初の計画通り(当該年度実施予定なし)				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input checked="" type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 学校給食室の整備は設置者である市が実施主体となり計画的に行っていく必要がある。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし						<input checked="" type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input checked="" type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 当初の計画通り(当該年度実施予定なし)		○要 ●不要
	100	100	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)			○要 ●不要
	0	0							○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input checked="" type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因> 当初の計画通り(当該年度実施予定なし)		○要 ●不要
	2,200	1,296	<削減の内容>		2,200	100	<超過理由等>		○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 当初の計画通り(当該年度実施予定なし)		○要 ●不要
	4.55		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ●不要
		%	10万円			0	0		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	本事業は、学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。									